

---

**頑張れチビ！**

Dear

---

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

頑張れチビ！

### 【Nコード】

N7832A

### 【作者名】

Dear

### 【あらすじ】

誰でも悩む青春時代の恋の悩み。チビで悩む武蔵のお話 読みにくいかもしれないですがよろしくお願いしますね

## （前書き）

読みにくかったらすみません！出来れば参考になりますので、  
評価をお願いします

夏休み前の学校

教室の机の上

溶けそうな顔で悩んでいる少年がいる

彼の名前は桜 武蔵

中学二年のどこにでもいるような少年

ただ、彼には悩みが．．．

「武蔵ちゃん！！可愛い」

「うわぁ～！？や、止めてよぉ！」

チビで童顔

声変わりしたはずなのに高い声

名前負けな姿

彼は女の子にいつも可愛がられていた．．．

「私さあ！本気で武蔵ちゃんみたいな弟が欲しいなあ！」「うちも欲しい！しかも義弟で（笑）」

彼は、彼女らが何を騒いでいるかなんてどうでもいいでも、可愛いと言われてイジられるのは好きじゃない．．．

「コラ！武蔵を困らせないの！」

そう言い放つ女の子  
幼馴染みの久保 瞳

昔から長身でサラサラの長い髪をなびかせて彼を助ける未だに救世  
主的な存在

「助かったよ瞳！ありがと！」

「しょうがないわよ！あのままだと武蔵ってモルモット状態だもん  
ね？」

その言葉で何気にへこむ武蔵

実は彼にとって、瞳は昔から今まで初恋の人なのだ……

昼休み

教室のドアを乱暴に開けて男が入って来た

「武蔵！サッカーしようぜえ！」

「ええ！？また？」

武蔵をサッカーに誘うのは大和 剛

サッカー部で二年ながらにエース

何気にかっこいい

剛が武蔵を誘うのには訳がある

一年の時に彼と同じクラス

さらに武蔵が体育の授業の時、小さい体をうまく使ったダイビング  
ヘッドをして以来、何故か親友になってしまった……

ふと、周りの女の子たちが騒ぎ始めた

「「やっぱり剛くんかっこいい！」」

ウザそうに溜め息を吐く武蔵

だが次の瞬間、彼の頭の中に一つの言葉が入って来た．．．

「やっぱり男はセクシーなのが一番いい」剛くんみたいな（笑）」  
「ウチも！ああ、あの胸板堪らないよ」

急ですが

ここは武蔵の頭の中

セクシーになれば俺は瞳に振り向いて貰えるんじゃないか？

武蔵の中で謎の恋愛方程式が完成していた．．．

次の日

「おはよう！」

「あっおは．．．って武蔵ちゃん！？」

胸を多きく開けてあるシャツ

髪はツンツン

ブルガリのブルーの匂いが漂う．．．

その他、男性誌より入手された間違ったセクシーな男グッズと情報の塊

急に変わった武蔵に怯えるクラスメイト

何故か気付いて無いのは本人だけ  
みんなの視線を勘違いしている・・・

「武蔵？何て格好してるの！？」

「ん！？瞳！これカッコ良くない？」

しばらくの沈黙

「気持ち悪い。」

再び武蔵の頭の中

気持ちが悪い

つまりは瞳は俺が嫌いって事・・・

現実世界に戻った武蔵はへこんでいた

所詮、チビで童顔

カッコイイ男なんて夢のまた夢・・・

昼休みになると、また剛が教室にサッカーのお誘いに来た

「武蔵？なんか元気ないな！～！悩みか？マジどうかしたのか？」

「カッコ良くなりたいんだよ・・・どうしたら剛みたいになれるんだよ？」

しばらくの沈黙

そして剛は一人で大笑いして武蔵に言った

お前は十分カツコイんだぜ・・・

もうすぐ昼休みが終わる時間

瞳が友達と武蔵を探していた

彼女の的に、武蔵に言い過ぎたと反省しているのだろう・・・

「武蔵・・・どこにいるんだろ？」

「瞳、心配なんだろ？大事な可愛い幼馴染みだもんね」（笑）

「武蔵が聞くと怒るわよ？可愛いって言われるの昔から嫌いみたいだから・・・」

ふと、聞き覚えのある高い声がグラウンドから聞こえて来た

「剛！コンビネーションで行くぞ！」

「分かった！武蔵？しくじるなよ！」

瞳は少しホッとした

元気そうな武蔵の顔を見たから・・・

瞳の心の中

何故だろう？

昔から武蔵の笑顔を見ると気持ちが高ぶる

武蔵が悲しいと泣きたくなる

何かに夢中になってしている姿を見ると胸が熱くなってしまう



「瞳？大丈夫！？」

友達に言われて少し飛び上がる

自分の世界に入っていたのだろう・・・

「妄想なんてしてないで、早く武蔵君を呼んで来れば？（笑）」

「今、声なんてかけられないよ・・・だってあんなにカッコイイ武蔵なんて滅多に見られ無いもん！」

武蔵はチビ

瞳は長身

並べば釣り合わないのかも知れない  
だけだね？

二人の心は同じ高さにあるんだよ・・・

今は二人は気付かないのだね？

両想いなんて考える暇がないのさ・・・

愛されたいけど、ヒトは臆病な生き物

傷つきたく無いと考えたら恋は止まったままなんだよ・・・

放課後、瞳は武蔵を誘い二人で帰った

それを見て一部の女の子が嘆く

「瞳っていいよね？あのポジション！」

「ウチも武蔵ちゃんみたいなの幼馴染みが欲しかったなあ！」

それを遠くで聞いていた剛が一人で呟く

「俺も可愛くなりてえなあ！モテたいよ．．．マジで！」

意外に男は気付かないのだよね？

特に中学校の時

モテても好きな娘には好かれてるか気になるんだ．．．

「まあ、武蔵に負けてられねえな！これからも頑張れよ？鈍くて気づかないチビ助！」

剛はそう言っと待ち合わせしていた友達と帰った．．．

帰り道

武蔵と瞳は、近くの公園に寄った

夕日の中で武蔵は瞳に聞いてみた

何をつて？

それはね？この二人だけの秘密．．．

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7832a/>

---

頑張れチビ！

2011年1月15日03時18分発行